

第2学年1組 算数科学習指導案

1 単元 1000までの数「100より大きい数をあらわそう」

2 指導観

- 本学級の子ども達は、これまでに、2位数の読み方、書き方、大小、順序、系列などについて、十進位取り記数法を含めて学習するとともに、簡単な3位数についても、読み方や書き方を学習してきている。しかし、2位数を10のまとまりの個数という考え方を基に数を表したり、十を単位として数の大きさを言葉に表したりすることができてない児童もいる。そこで、2位数や簡単な3位数の構成を基にして、より大きな数を表したり、数を多面的に捉えたりすることができるようになるこの期に、本単元を取り上げる。そして、1000までの数の表し方及び数の大小、順序等について位取り表や図を使って考え、数の構成について理解を深めるようにする。また、十を単位とする3位数同士の加法と減法を計算することができるようにする。このことは、数学的活動に取り組みながら学習内容を確実に習得し、身につけた知識・技能を活用して問題を解決しようとする学ぶ意欲をもち、確かな学力を身につけた子どもを育てる上で意義深い。
- 本単元では、第1学年で学習した2位数と簡単な3位数の指導を基にして、1000までの数の表し方及び数の大小、順序等について理解し、十を単位とする3位数同士の加法と減法を計算できるようにすることをねらいとしている。そのために、十進位取り記数法ではそれぞれの位を単位として、百、十、一のまとまりがいくつあるかを位ごとの位置で表すことを理解させる。また、数の大きさを大きい位の数字から比較すること、3位数を百や十のまとまりがいくつあるかで考えることができるようにする。この学習は、10000までの数の表し方及び数の大小、順序、系列、百を単位とする4位数同士の加法と減法を計算する学習へと発展していく。
- 本単元の指導にあたっては、まず、3位数を、百、十、一のまとまりに分けて考え、位取り表に書き込み、十進位取り記数法で表すことができるようにする。次に、数の順序や大小について理解し、数直線や不等号を用いて複数の3位数の関係を表すことができるようにする。さらに、3位数を加法的に捉えたり乗法的に捉えたりすることで数を関係的に捉え、十のまとまりを基にして3位数同士の加法と減法を計算することができるようにする。

尚、本時指導にあたっては、十進位取り記数法での空位のある3位数の読み方、書き方を知り、空位のある3位数を読んだり、書いたりすることができるようにする。その際、漢数字で書かれた3位数を、読んだ音の通りに数字に表してしまう児童がいることが予想される。そのために、説明段階で、漢数字で書かれた3位数を位取り表と連動して色分けして確認を行うことで、位に入る数を視覚的に捉えやすくする。また、理解深化段階では、空位のある3位数をブロック、加法的に捉えた文章、漢数字、十進位取り記数法で正しく表した組み合わせを選択する問題に取り組みせ、間違いを説明し合うことで空位のある3位数についての理解を深めさせる。

3 目標

- 10や100のまとまりにして数えるよさに関心を持ち、十進位取り記数法と関連付けて捉えたり、計算の仕方に活用したりしようとする。【関心・意欲・態度】
- 10や100のまとまりに着目し、数の大小関係や相対的な大きさを位取り表や図を使って考えて説明することができる。【数学的思考方】
- 3位数を10や100のまとまりにして数え、十進位取り記数法で表したり、3位数同士の加法と減法を計算したり、数の大小関係を不等号を用いて表現したりすることができる。【技能】
- 3位数について、十進位取り記数法の仕組みを捉え、読み方、書き方、大小、順序、系列、数の相対的な大きさについて理解することができる。【知識・理解】

4 本単元の学習活動（9時間）

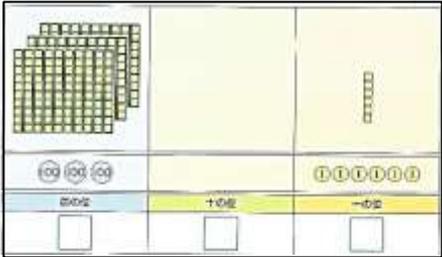
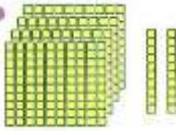
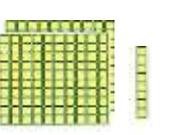
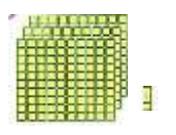
- 1 十進位取り記数法の仕組みを基に3位数の読み方や書き方を考え、言葉や数で表す。——— 2
- 2 空位のある3位数の読み方と書き方を考え、言葉や数で表す。——— 1（本時）
- 3 3位数を十や百のまとまりで考え、数の相対的な大きさを理解する。——— 1
- 4 1000の構成と表し方を理解し、1000までの数の順序と系列を考える。——— 1
- 5 数の乗法的に考え方を知り、3位数を加法的に捉えたり乗法的に捉えたりして表現する。—— 1
- 6 3位数の大小関係を考え、不等号を用いて表す。——— 1
- 7 十を単位とする3位数同士の加法と減法の計算の仕方を考え、正しく計算する。——— 1
- 8 学習のまとめとなる問題や活用問題に取り組みせ、理解を深めさせる。——— 1

5 本時 平成30年6月14日(木) 第2校時 於2年1組教室

6 主眼

- 十進位取り記数法での空位のある3位数の読み方、書き方を知り、空位のある3位数を読んだり書いたりすることができるようにする。

7 本時の学習活動(3/9)

	学習活動	具体的な手立て※評価
説明	<p>1 予習から、本時のめあてをつかむ。</p> <p>位になにもないときの3けたの数を読んだり書いたりできるようになる</p> <p>○ 予習の内容を確認し、空位のある3位数の表し方を知る。</p>	<p>【予習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 空位のある3位数を位取り表に表す。 ○ 漢数字で書かれた空位のある3位数を数字で書く。
理解確認	 <p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①四角をうめましょう。 ②100と10と1がいくつずつあるか書きましょう。 ③かん字で書きましょう。 ④300と6をあわせた数は()。 	<p>【困難度査定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢数字で書かれた3位数を、読んだ音の通りに数字で表す児童がいることが予想される。
理解深化	<p>2 習得した考えを使って練習問題を解き、空位のある3位数の表し方を確認し合う。</p> <p>【確認問題】</p> <p>①いくつありますか。</p>  <p>②漢字で書きましょう。 603</p> <p>③数字で書きましょう。 二百七 九百</p> <p>○ 求め方をペアで説明し合い、全体で考えを確認し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字から数字に正しく書くことができるように、よくある間違いを取り上げて説明する。 ○ 空位のある3位数を表すことができているかを確認するために、まとまりに着目させてペアで説明し合う活動を位置づける。
理解深化	<p>3 思考を深める問題を解き、考えを交流し合う。</p> <p>【チャレンジ問題】</p> <p>正しいものをえらびましょう。また、ちがうものは正しいこたえをよこに書きましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="277 1458 523 1800"> <p>①</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・100を4こと、10を2こあつめた数。 ・四二十 ・420 </div> <div data-bbox="539 1458 785 1800"> <p>②</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・100を2こと、1を8こあつめた数。 ・二百八 ・2008 </div> <div data-bbox="801 1458 1046 1800"> <p>③</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・100を3こと、1を3こあつめた数。 ・三百三 ・303 </div> </div> <p>○ 解くための方法をペアで話し合い、自力解決をする。</p>	<p>※ 空位のある3位数を、十進位取り記数法で読むこと、かくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最初にペアで解き方を交流する時間を設定する。その際、まとまりに着目して交流できるようにさせる。
自己評価	<p>4 本時学習を振り返り、「分かったこと・分からなかったこと」を明らかにする。</p> <p>○ 次時の予習内容を知る。</p> <p>【次時の予習】</p> <p>10を16こあつめた数はいくつか考えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ノートに自己評価を書かせ、理解状況を確認させる。 ○ 次時の予習問題を読み、次時の見通しを持たせる。